

FIT2026 インタラクティブセッション（ポスター）プログラム

発表日	発表セッション 座長（所属）	発表番号	講演時間帯 ・会場	発表題目	氏名	所属
9 月 2 日	13:10～15:10 インタラクティブ2 座長：高橋 哲朗 (鹿児島大学)	1	1r	City Share Map: LINE連携型フォームベース市民通 報システムの提案と初期評価	羽田野 武蔵	九州大学
		2	3a	前提知識付きPPMにおける共有辞書読み込み時間の 削減	安井 秀太	北海学園大学
		3	3n	AIGCによる実写ショートドラマの工業化ワークフ ロー提案——「天淵」の実践事例から——	陶 炫程	九州産業大学
		4	1m	デザイン教育DXを指向した3DCG質感認知における 脳波からの画像再構成に関する一検討	河畑 則文	金沢大学
		5	3c	低価格・粗粒度再構成可能ミックスドシグナル・セ ンサAFE	和田 善生	株式会社サムス ン日本研究所
		6	3d	ゴリラ心理実験から検証した日本語学習者と認知： 日本語ボランティアインターンシップ遠隔指導から の報告	近藤 恵理	北九州市立大学
		7	1a	モード級数を利用した周波数特性	大内 和幸	波動デバイス研 究所
		8	1b	農産物市場における価格更新ルールが市場安定性と 取引効率に与える影響のエージェントベース分析	佐藤 輝幸	大和大学
		9	1a	低次元カテゴリカル時系列データにおけるPELT法の 適用と候補点制限による高速化	武石 悠希	静岡理工科大学
		10	1a	符号付き自己情報量に基づくレビュー嗜好のジャン ル類似性分析と時系列表現の比較検討	杉村 瑞己	静岡理工科大学
		11	3g	圏論に基づく質問応答	桑田 修平	三井住友海上火 災保険株式会社
		12		取消		
		13	1s	多数のAIエージェントから構成される社会における 相互作用と安定性	金子 格	一橋大学
		14	3s	強化学習エージェントの相互作用に基づく縄文中期 における黒曜石交易網の構成論的シミュレーション	柴田 憲蔵	帝京大学
		15	1c	ソフトウェアのモジュール性を活用したコーディン グエージェントのためのコンテキスト管理手法	足利 聡太	京都大学
		16	1c	記憶構造モデルL4t4による生成AI誤認検知手法 一 概念実証と安全基盤の提案	大林 正晴	株式会社メタ キューブ
		17	1f	汎用的な能力を維持した金融特化型LLMの開発	齋藤 幸史郎	東京科学大学
		18	1f	日本語データセットに対する大規模言語モデル同士 の自然言語を介さない効果的なコミュニケーション に関する研究	佐藤 哲	パーソルキャリ ア株式会社
		19	1f	LLMベースのゼロショットソフトラベリングを用い た交渉成否検知	渡邊 賢	東京農工大学
		20	3f	Transforming English Math Word Problems into Japanese Considering Cultural Differences and Grade Skills	曲 奕嘉	早稲田大学
		21	3u	地域包括ケアシステムの基盤となるケアプランデー タ連携システムの多職種利用促進 データ共有シス テムLYNXSの実証検証の報告	戸田 正雄	株式会社日本高 齢支援センター

発表日	発表セッション 座長（所属）	発表番号	講演時間帯 ・会場	発表題目	氏名	所属
		22	3u	介護予防ゲームへの遠隔参加を可能とするテレプレゼンスシステムの開発	小林 環	富山県立大学
		23	1n	聞き手のふるまいによる創造的思考変容分析	山之内 七穂	千葉工業大学
		24		取消		
		25		取消		
		26	1k	仮想環境を用いたYOLOv8 + MPPIドローン障害物回避の再現可能な開発・検証ワークフローと実機移植	長野 陸	広島大学
		27	1k	ProtoCoach-Yoga: Explainable Yoga Coaching via Pose Relationship Prototype Learning and Small Language Model Feedback	Damiran Zolboo	Nara Institute of Science and Technology
		28	3j	口調指定下におけるLLMに基づく仮想アンケートの実社会データとの比較	中村 詩織	名古屋工業大学
	15:30～17:30 インタラクティブ3 座長：松澤 芳昭 （青山学院大学）	1	1q	耐量子鍵共有方式ML-KEMのパラメータセット選択に向けた処理性能・通信コスト評価	曾原 蓮	大和大学
		2	1q	非対称なアソシエーションスキームの構造を持つカードベースプロトコルの構成	須賀 祐治	株式会社インターネットイニシアティブ
		3	1q	電波強度を用いたGPS信号の真贋判定における定量的評価法について	寺西 晃佑	立命館大学
		4	1q	量子アニーリングを用いた Cell-Free Massive MIMO におけるダウンリンクユーザー割り当て最適化	渋谷 昂生	東海大学
		5	1q	初等中等教育機関における通信品質データと体感情報を用いたネットワーク問題切り分け手法の評価	佐々木 勇人	広島大学
		6	1j	野球成績データにおける数値的基準への集中：概数以外の評価基準とセイバーメトリクスで重視される指標を対象とした網羅的分析	今泉 拓	鹿屋体育大学
		7	2m	内声時の脳波を用いた日本語Brain-to-Voiceシステム	木村 翔真	九州工業大学
		8	2f	位相スペクトログラムとCNNを用いたディープフェイク音声検出	後藤 慶太	九州大学
		9	1d	店頭販促カタログを対象とした商品スキーマ推定に基づくエージェント型検索システムの開発	川口 翔太	東京理科大学
		10	2e	アダマール積を利用したエクストリームラーニングマシンの高速化について	池尻 尚生	立命館大学
		11	2b	感染症と関連投稿行動の双方の感染モデルによる感染者数予測	田邊 光弘	京都大学
		12	1g	対人魅力調査における大規模言語モデルと人間の回答分布乖離：社会的望ましきバイアスのモデル間差異とプロンプト制御	有澤 彰悟	浜松医科大学
		13	1g	危機管理業務における質問応答タスクに向けた小規模言語モデルの最適化と性能評価	張 程	株式会社 日立製作所
		14		取消		
		15	1e	「いつ」の影響を排除すれば行動ビッグデータは宝の山になる:心理学とデータサイエンスの融合が教育を変えはじめた	寺澤 孝文	岡山大学

発表日	発表セッション 座長（所属）	発表番号	講演時間帯 ・会場	発表題目	氏名	所属
		16	6u	講義室外からの不正な出席提出を防止するNFCタグ活用型出席管理システムの改良	平原 照也	Astonix株式会社
		17	1t	段階評価アンケートにおける分布形状差に基づくJarque-Bera型非類似度指標の提案と未観測カテゴリへの対応	萩田 碧偉	静岡理科大学
		18	1t	AI エージェントはダークパターンの影響を受けるのか？：IMC課題を用いた複数LLMの比較実験	後藤 晶	明治大学
		19	2t	意味的領域理解と物理的文字検出の相互補完による構造保持文書画像匿名化手法の提案	藤村 浩司	株式会社カケハシ
		20	5w	Gaia-X DiGaia-X Digital Clearing Houseを用いた国際相互認証方式の提案とロボット・AI時代に向けた課題	八木 拓馬	NTTデータグループ
		21	1n	大規模言語モデルによるディベート訓練支援システムの構築	神田 瑞貴	和歌山大学
		22	1n	ソフトボールのウィンドミル投法のスキル学習支援システムの構築	千葉 雅也	和歌山大学
		23	2h	ガス配管を対象とした音響異常検知型エッジAI漏洩監視システムの検討	花岡 千里	西日本工業大学
		24		マルチモーダル画像生成AIを用いた衣服画像生成手法の検討	森川 舞	鹿島朝日高校
		25		線状降水帯における局地的降水特性と発生前気象条件の共通性分析 ―早期の危険察知に向けた事例比較―	中間 紫音	福岡県立香住丘高校
		26		大規模スポーツイベントが時間帯別電力需要に与える影響の推定 ―FIFAワールドカップ日本対ブラジル戦を事例	西野 奏吾	福岡県立香住丘高校
		27		手書き途中式を段階的に添削するAI数学学習支援アプリケーションの設計と実装	藤本 健佑	福岡県立香住丘高校
		28		SNS画像を用いた道路異常検知に向けた浸水レベル判定の基礎検討	石井 美空	福岡県立新宮高校
		29		自律的に自己成長を実現する状況分析能力を養うゲーミフィケーション技術に関する研究	大野 智己	愛媛県立松山南高校
9月3日	9:30～11:30 インタラクティブ4 座長：牛尼 剛聡 (九州大学)	1	5g	統計的に特徴的な背景を持つアイテム集合を用いた類似度に基づく二集団構成手法の提案	佐藤 優香	群馬大学
		2	5c	栽培施設内の環境を計測する多点多項目計測システムの構築と運用	光藤 雄一	農研機構
		3	5d	バイオ実験手順対応型マルチモーダルデータ取得基盤SETWorks	木村 俊介	東京都立産業技術大学院大学
		4	5d	LLMとIndexedDBを活用したブラウザ内スキーマレス分析基盤	山下 敦	東京都立産業技術大学院大学
		5	5q	道路維持管理を目的としたポットホール面積推定法の検討	三田 樹	富山大学
		6		取消		
		7	5f	話者の認知的区切りと意味づけに着目した「聞き手AI」の発話方策制御	井上 文彰	大阪大学
		8	2v	「仮想将来世代」として振る舞う生成AIを活用した意思決定プロセスの超学際研究	丸山 雅貴	日本国際学園大学

発表日	発表セッション 座長（所属）	発表番号	講演時間帯 ・会場	発表題目	氏名	所属
		9	5r	Vision Language Modelを用いた幾何学問題解答における指示語と指差しの統合処理	尾田 一真	豊橋技術科学大学
		10	5j	移動軌跡と地形データを用いた低山登山道における道迷い発生地点の推定	若山 怜央	滋賀大学
		11	5h	時系列変化とドメイン間遷移を考慮した辺の量的・関係の性質に基づく異種GNN	梅原 巧実	京都大学
		12	3m	背景コンテキストを考慮した自動3Dメッシュ配置による空撮画像の物体検出に対する学習データ拡張技術	柴崎 圭	株式会社日立製作所
		13	5m	ベテラン運転員の主観評価を教師信号としたごみ画像の燃えやすさ推定	豊田 貴良	京都橘大学
		14	1k	単眼深度推定と2D LiDARの融合による広範囲・高解像度な3次元地図構築	千頭 徳士	京都橘大学
		15	1a	予測誤差の分散抑制に基づくRobust Regularization (RR) の提案	穴井 克和	武蔵野大学
		16	2n	あらゆる物体をUIにするARシステムに関する提案-現実にある物体で操作するARゲームの一例-	川北 純平	京都橘大学
		17	2p	骨格推定を用いた手指リハビリテーションデバイスの制御	北里 元	神奈川工科大学
	15:30～17:30 インタラクティブ5 座長：小川 康一 （広島大学）	1	4t	AES鍵長とサイドチャネル攻撃耐性の相関解析	吉岡 真穂	近畿大学
		2	4t	RBF Correction-Based Vector Field Modeling for Greenhouses	Wang Joseph	Volapu Research
		3	4t	動的UI環境に適応する運用監視AIエージェント開発に向けたUI認識基盤の設計	久保田 真一郎	熊本大学
		4	4m	YCbCr色空間における欠損画素復元手法のモデル性能と欠損パターンの相関構造の分析	小椋 清孝	岡山県立大学
		5		取消		
		6	4a	建物毎の要救助者期待値と生存率時間減衰を考慮した震災時捜索経路最適化モデルに関する基礎研究	赤松 章	名古屋産業大学
		7	4q	LLMによる仮想問題生成を用いた数学問題推薦システム	佐藤 凜太郎	
		8	4r	VERS: VRChatにおける実験定義および実験アンケート収集工程を一本化する支援ツールの提案	爲谷 秀太	東京電機大学
		9	4p	画面画像からの段階的ペルソナ生成に基づくユーザビリティテスト自動化手法の提案	天野 凌我	株式会社 日立製作所
		10	4p	生成AIを用いた育児期保護者向けメンタルヘルス支援システムの構築と評価	田 栗華	青山学院大学
		11	4f	報酬予測値を用いたクリックログからのオフ方策学習	坪坂 正志	株式会社リクルート
		12	4h	CartPole環境における世界モデルの予測誤差と行動選択への利用に関する基礎的検討	大工 亮太	大和大学
		13	4p	生成AIを用いた育児期保護者向けメンタルヘルス支援システムの構築と評価	田 栗華	青山学院大学
		14	4e	正誤判定のための取得条文の十分性評価に基づく反復的なクエリ拡張戦略	蜂巢 巧明	東京理科大学
		15	3n	ジャンプアクションゲームにおけるゴール到達可能なステージの自動生成	井澤 空弥	京都橘大学

発表日	発表セッション 座長（所属）	発表番号	講演時間帯 ・会場	発表題目	氏名	所属
		16	3w	個別化されたAIエージェント間会話の観察が職場におけるメンタリティに与える影響	宇野 渉	株式会社リクルートマネジメントソリューションズ
		17	3k	単眼深度推定とオプティカルフローの動的重み付けによるフロアマップ生成	長谷川 達也	京都橋大学
		18	3h	音声特徴量におけるドメインギャップと特徴量選択の限界	近藤 優豪	東京電機大学
9 月 4 日	9:30~11:30 インタラクティブ6 座長：勝間 亮 (大阪公立大学)	1	7t	富山市における気象状況が渋滞や人流に与える影響の検証	高橋 奏飛	富山大学
		2	7t	深層強化学習を用いた縮尺に歪みを持つ屋内地図での位置推定	竹山 諒	龍谷大学
		3	7t	自動走行車の障害物回避時におけるAR情報提示と搭乗者信頼感の関係	澤邊 太志	奈良先端科学技術大学院大学
		4	7v	操作教育から知的生産教育へ: 生成AI時代の大学初年次コンピュータ教育の再設計	岩田 健一	鳥取大学
		5	7x	ハードウェア仮想化環境を用いたネットワーク通信性能の定量的評価手法	香月 亮祐	北九州市立大学
		6	7c	階層化による<i>k</i>-近傍グラフマージ高速化	橋本 龍徳	東京科学大学
		7	7r	Revors: 拡散モデルのLoRA微調整に対するリサイズ考慮型防御摂動とノイズ除去耐性の評価	坂本 喜亮	宮崎情報ビジネス専門学校
		8	7d	強化学習を用いた自然な数字言語合わせの自動生成	西原 泰宇	滋賀大学
		9	7d	大規模言語モデルを用いたIn-Context LearningによるCT所見文の構造化と診断文の簡易化	櫻庭 涼	豊橋技術科学大学
		10	7p	Liminal Spaceにおける不気味さの構成要因と発生メカニズムに関する仮説提唱	柚木 涼太	北九州市立大学
		11	7p	あいうべ体操を対象とした口形のリアルタイム認識によるゲームシステムの開発	小川 立葵	京都橋大学
		12	7p	公的統計データを感覚的に理解するための可視化・可聴化の試み	竹内 一翔	滋賀大学
		13	7k	CrossLerp：画像由来の局所対応に基づく高効率な特徴量アップサンプリング	堀川 航太郎	名城大学
		14	7k	顔表情認識における敵対的学習と動的特徴マスキングによる個人識別抑制の検証	山本 雄大	名古屋工業大学
		15	7j	手書き文字サブストロークトークン間の相対関係を表現する筆者識別Transformer	山城 遼	東京都市大学
		16	7m	気象基盤モデルとヒートマップ回帰による熱帯低気圧発生位置予測	周防 有佑	滋賀大学
		17	7q	ECサイトにおける画面読み込みUIが主観評価に与える影響	中村 佑介	九州工業大学
		18	7g	Construction of a Digital Markov Blanket Based on Active Inference and a Proposal for Maintaining Autonomy Efficiency	中田 莉那	立命館アジア太平洋大学
		19	7d	規制文書からのスライド自動生成：忠実性と網羅性の観点から	松田 明梨	筑波大学
		20		取消		

発表日	発表セッション 座長（所属）	発表番号	講演時間帯 ・会場	発表題目	氏名	所属
	13:10～15:10 インタラクティブ7 座長：和田 充史 (情報通信研究機構)	21	7u	SDVXプレイ技能分析のための手首の慣性データと譜面の時刻同期手法の検討	早川 明良	大阪公立大学
		1		取消		
		2	6t	コミュニティEVバスを想定した実環境の走行シミュレーションの検討	國保 修弥	富山大学
		3	6a	非集中型ADMMによるマルチマイクログリッドの収束加速化	水川 祥	一橋大学
		4		取消		
		5	6r	動画とタイピングログを用いた運指自動判定システムMiTroの構築と評価	緑川 武伸	青山学院大学
		6	6r	産学間の継続的な学習のための業界スキル標準と教育カリキュラムのマッピングの実践	西田 直樹	名古屋大学
		7	6r	関数型プログラミング学習のための高階関数のアニメーション可視化	東海林 文博	玉川大学
		8	6d	Enhancing Few-Shot Writing Style Imitation in Fine-Tuned LLMs via Authorship Verification	朱 光耀	早稲田大学
		9	6p	BubbleWalk：小型LEDデバイスを用いた直接的な遭遇に基づく意見分布提示システムの設計	橋本 慶紀	東京電機大学
		10	6m	エッジデバイスにおける映像圧縮パラメータがVLMの推論性能に与える影響の体系的評価	太田 知孝	東京電機大学
		11	6a	3次元拡散型分子通信チャネルにおける有限時間情報量評価と観測窓設計	山崎 理桜	大和大学
		12	6c	情報利得に基づく質問選択を用いた医薬品検索対話システムの構築	HOANG VAN NAM	豊橋技術科学大学
		13	6q	想像温度推定モデルにおける物理環境要因と主観評価要因との関係性	渡辺 芽衣	富山大学
		14	6q	農産物無人販売所における商品構成と購買傾向の分析	松井 美桜	富山大学
		15	6q	類似する動画の並行視聴における音像定位制御を用いた効率的な視聴方式の提案	小野寺 こなみ	東京電機大学
		16	6q	Cross-subject Fine-tuning Using Transformer Models for EEG-based Emotion Recognition	Meng Hongyan	早稲田大学基幹理工学研究科亀山研究室
		17	6k	動線分析のための外観と歩容による人物再同定	尾見 優太	京都橘大学
		18	6m	イベントカメラにおける能動視覚のための中心・周辺視野制御によるイベント爆発抑制手法	アンタケ チャダー ポーン 玲羅	NTT